

備前市事務事業評価表

事務事業名	情報教育推進事業	コード	03-01-02-10
		担当課・係	学校教育課 指導係
		担当者	磯本宏幸
事業実施期間	平成15年度～	電話	64-1840
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり	
	中項目(基本施策)	未来を支える人材を育むまちづくり	
	小項目(施策)	小・中学校	

事業について	
目的 (何のために)	情報教育に関する情報提供や情報機器の効果的な活用等についての指導を行うことで、各学校における教員のICT活用能力を高め、児童・生徒に対する教育効果の拡大を図る。
対象 (誰・何を対象に)	市内全教職員
内容	<ul style="list-style-type: none"> 県、国等の事業の紹介 効果的な情報機器の活用についての指導 情報教育アドバイザーの活用に関する支援 情報教育推進に関する情報提供

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
情報教育アドバイザーの授業活用回数	0回	737回	
教員対象講習の実施回数	2回	2回	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	0	間接補助金等		直接事業費	0	間接補助金等		直接事業費		間接補助金等	
	人件費	1,010	受益者負担		人件費	1,010	受益者負担		人件費		受益者負担	
			市債				市債				市債	
合計	1,010	一般財源等	1,010	合計	1,010	一般財源等	1,010	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.10人	0.10人	
結果指標名	教員研修等実施回数		教員研修等実施回数
結果指標量	2	2	
単位	回	回	
対前年比	—	100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	1,010,000円	1,010,000円	
単位当たりコスト	505,000円	505,000円	
結果指標名	情報教育アドバイザー活用回数		情報教育アドバイザー活用回数
結果指標量	0	737	
単位	回	回	
対前年比	—		0.00%
活動にかかるコスト	0円	1,010,000円	
単位当たりコスト	0円	1,370円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	情報機器を活用する教員の資質向上と学習における効果の拡大		
成果指標名	式又は説明		
	17年度	18年度	
成果指標量			
対前年比	—		
到達目標値		到達目標年度	

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の 妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価 <A~E>
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 <A~E>	
有効性の評価	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
市民参画度	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量	結果指標量

総合評価	評価区分 <A~E>
------	------------

平成20年度以降の方向性		説明
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	
平成20年度以降の改善事項		

評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果